

## JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成 23 年度）

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度JAバンク栃木中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

この度、平成 23 年度の地域密着型金融の取組状況を取りまとめましたので、ご報告します。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （JAバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 24 年 3 月末時点のJAバンク栃木の農業関係資金残高<sup>（注1）</sup>は 32,290 百万円（うち農業経営向け貸付金 19,869 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>（注2）</sup>残高は 9,063 百万円となっています。

（注1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注2）JAバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	24 年 3 月末現在
農業	19,869
穀作	4,811
野菜・園芸	4,844
果樹・樹園農業	1,164
工芸作物	82
養豚・肉牛・酪農	4,253
養鶏・鶏卵	17
養蚕	3
その他農業	4,693
農業関連団体等	12,421
合計	32,290

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）「農業関連団体等」には、JAや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

**【資金種類別農業資金残高】** 単位 百万円

種 類	24年3月末現在
プロパー資金	24,422
農業制度資金	7,868
農業近代化資金	5,446
その他制度資金	2,422
合 計	32,290

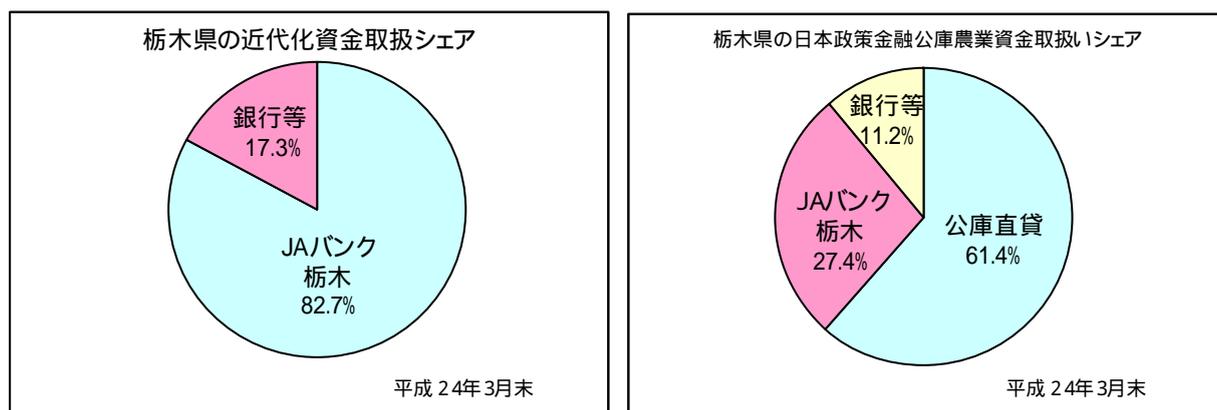
- (注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- (注2) 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは の転貸資金と を対象としています。
- (注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

**【農業資金の受託貸付金残高】** 単位 百万円

種 類	24年3月末現在
日本政策金融公庫資金	9,064

- (注) JAバンク栃木では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク栃木は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェア(公庫直貸を除く)となっています。

**【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】**


## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店（支所）の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関するトータルサポート・資金提案活動を行っています。

また、県内10JAの本支店（支所）には70名の「担い手金融リーダー」を設置し、農業者の金融面でのサポートを行っています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化に努めています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

### 具体的取組事例

#### 【JAバンク担い手金融リーダー会議の開催】

農家支援の取り組み強化を図ることを目的に、営農・経済渉外担当者も参加対象に加え、「JAバンク担い手金融リーダー会議」を開催しました。農業生産法人の代表取締役を講師に迎え、農業経営の取組みについて、理解を深めました。



**【パワフルアグリフェア】**

JAグループ栃木が主催するパワフルアグリフェア（農機具展示会）に参画し、会場内に設置したJAバンクコーナーにおいて、農業資金等のPR、相談活動を実施しました。

**（４）６次産業化に向けた農商工連携の推進**

（社）とちぎ農産物マーケティング協会主催の商談会を、農林中央金庫宇都宮支店が全農とちぎ、栃木県と共に共催し、生産者・JAと加工流通業者との橋渡しを行うなど、6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

**【商談会等開催状況】**

商 談 会 名	第5回栃木県農産物等展示商談会
開 催 日	平成24年1月19日
主 催 者	（社）とちぎ農産物マーケティング協会
参加団体数	47団体
総来場者数	2,000名
内 容	本県産の農産物や食品の販路拡大を目的とした展示・商談会を宇都宮市マロニエプラザにて開催。



## 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

	平成 23 年度 実行件数	平成 23 年度 実行金額	平成 24 年 3 月末 残 高
就農支援資金（転貸）	12	107	804

#### 具体的取組事例（JAはが野）

##### 【JAはが野 新規就農塾】

地域農業の担い手の減少と高齢化により、地域農業を支える担い手の育成・支援は重要課題となっていますが、JAはが野では「JAはが野 新規就農塾」を開設し、新規就農者を支援する環境を総合的に構築し、地域農業の担い手となる人材の確保と育成を図ることとしました。

**募集要項**

- 事業の内容 JAはが野管内の就農希望者として1年間の研修を行い、農業経営に必要となる知識・技能を習得する。
- 募集期間 平成30年3月末まで
- 募集対象 高校生
- 募集対象者 ①18歳以上24歳未満 ②研修終了後、JA管内の就農を前提において、就農・経営を開始すること ③JAの組合員となること ④研修期間終了後に研修料として研修費を支払うこと。
- 研修人数 10名程度
- 研修期間 1年間（平成30年4月～平成31年3月）
- 研修内容 実際の農作業を通じての研修 講習会等の研修 研修期間中の宿泊 研修終了後のJA管内、研修受講料として2万円を徴収する。
- 研修申込等 申込書を提出後、「募集要項」「研修要項」の上記内容に基づいて、随時募集を行います。 申込が定数の満員に達した時点で募集を中止いたします。

詳しくは下記問い合わせ先までご連絡下さい。

募集：4月～10月迄  
JAはが野管内の就農希望者（18歳～24歳）  
住所：〒311-0001 栃木県宇都宮市大宮1-1-1  
TEL：028-252-1111 FAX：028-252-1112  
Eメール：haganoya@ja-bank.com

**(2) 経営不振農家の経営改善支援**

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

**【平成 23 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】**

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち期中に再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先		46	5		31	10.9%	
要注意先	うちその他要注意先	178	2	31	127	1.1%	17.4%
	うち要管理先	3	0	2	1	0.0%	66.7%
破綻懸念先		32	5	5	20	15.6%	15.6%
実質破綻先		70	0	1	54	0.0%	1.4%
破綻先		2	0	1	0	0.0%	50.0%
小計( ~ の計)		285	7	40	202	2.5%	14.0%
合計		331	12	40	233	3.6%	12.1%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 23 年 2 月末時点でのものです。

**(3) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催**

農林中央金庫宇都宮支店および栃木県農業法人協会主催により、セミナーを開催いたしました。

**【平成 23 年度 講演会・セミナー開催実績】**

講演会名	栃木県農業経営セミナー
開催日	平成 24 年 1 月 27 日
主催者	農林中央金庫宇都宮支店，栃木県農業法人協会
参加対象者	農協役職員，農業経営者，行政，関係団体
参加人数	88 名
内容	<p>第一部 「JAバンクの農業法人向け資本供与スキームの概要」 講師：農林中央金庫 農林水産環境統括部</p> <p>第二部 「新しい農業スタイルの創造」 講師：株式会社嶋石 代表取締役 石割照久氏</p> <p>第三部 交流会</p>



### 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による軽減支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

##### 【平成 23 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 24 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	201
畜産特別資金	0	0	108
災害特別資金	3	5	5
畜産経営維持緊急支援資金	0	0	55
合計	3	5	369

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

**【災害被災者への支援資金】**

(単位:件,百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
東日本大震災に伴う災害資金の対応	JAうつのみや	東日本大震災により被害を受けた組合員に対し、無利子の資金対応をしました。	49	120
福島原発事故に伴う災害資金の対応	JAうつのみや	福島第一原子力発電所事故による畜産の風評被害、出荷停止等により被害を受けた組合員に対し、無利子の資金対応をしました。	12	52
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JAうつのみや	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	1	10
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JAかみつが	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	12	25
農畜産物災害特別資金の対応	JAかみつが	東日本大震災による農業経営の被害について、物的な損害のみならず、インフラや流通網等の混乱により支障をきたしている管内農業者に対し円滑な資金供給を行いました。	3	5
東日本大震災に係る災害復旧支援資金の対応	JAはか野	東日本大震災の被災者を対象とした災害復旧支援資金を制定し、低利の資金を融通することで復旧支援に対応しました。(自治体によっては利子補給あり)	97	19
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JAしもつけ	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	3	20
東日本大震災復旧等支援資金の対応	JAしもつけ	東日本大震災に伴い東京電力福島原発事故の放射線風評被害による市場価格の下落、出荷停止による損失のため、資金対応をしました。	2	6
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JAおやま	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	2	6
JAおやま肉牛緊急対策支援資金の対応	JAおやま	東電福島第1原子力発電所の事故の影響により風評被害を受けられた肉牛肥育農家の皆様にお役立ていただくために、無利子での融資を行い、肉牛肥育の向上と経営の安定を図りました。	3	11
JAおやま災害復旧住宅ローンの対応	JAおやま	東北地方太平洋沖地震により被害が拡大している中、当組合の取り組みとして、被害を受けられた皆様にお役立ていただくために、住宅の改築・修繕を対象に低金利での融資を行い、組合員の安定を図りました。	3	8
JAおやま農業災害復旧支援資金の対応	JAおやま	東北地方太平洋沖地震により被害が拡大している中、当組合の取り組みとして、農業生産に直結する設備資金を対象に低金利での融資を行い、地域農業の発展に資するとともに、農業生産の向上と農業経営の安定を図りました。	3	7
東日本大地震「災害支援資金」の対応	JA佐野	東日本大震災に伴う原発事故により被害を受けた組合員に対し、利子補給を受け低金利の資金を新設し対応しました。	7	4
東日本大震災農業災害支援資金の対応	JA佐野	東日本大震災に伴う原発事故により被害を受けた組合員に対し、利子補給を受け低金利の資金を新設し対応しました。	3	3
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JA佐野	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	1	2
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JA足利	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	4	17
東日本大震災 災害資金の対応	JAしおのや	大震災の被害に対応するための資金として対応しました。	55	122
がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金の対応	JAしおのや	東北地方太平洋沖地震に伴う原発事故による出荷停止等により損失を受けた農業者に対し、農業経営に必要な運転資金を無利子で融資し、経営の安定に貢献しました。	5	26
東日本大震災被災者に対する災害資金の対応	JAなすの	大震災被災者へ低利で、制度資金等より比較的簡易な手続きで対応出来るプロパー資金を、農業資金・生活資金等を対象に取扱いを実施しました。	47	111
東日本大震災等自然災害復旧支援資金の対応	JAなす南	東日本大震災で生活施設、農業施設、農畜産物等に被害を受けた組合員に対し、低利の資金により対応しました。	75	124
合計			387	697

## (2) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク栃木は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 395 校へ、22,340 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAうつのみや	作文・図画コンクール	小中学生を対象に、「ごはん・お米とわたし」を題材とした作文・図画を募集し、食の大切さや命を支える農の役割について理解・関心を深める取り組みを行いました。
JAかみつが	農業体験学習	小学生を対象に、学校農園で農作物づくりの農業体験学習、地産地消の取り組みとして学校給食への食材提供を行いました。
JAはが野	農業体験教室 (未来ちゃんクラブ)	小学生を対象に、JA管内の地区(真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀)ごとに、それぞれ地域の特色を持った農業体験教室を行いました。
JAしもつけ	農業体験学習	園児・小学生を対象に、野菜の定植・収穫体験、牛乳工場見学、ぶどう・梨つみ取り体験、豆腐作り等の農業体験・調理実習を行いました。
JAおやま	農業体験学習	小学生を対象に、親子クッキングとして、管内産の食材を使ったピザ作りの料理実習、あぜみちサミットとして、田植え・稲刈りの農業体験を行いました。
JA佐野	農業体験教室 (あぐりスクール「夢」)	小学生を対象に、田植え・野菜収穫・市場見学・料理教室・農業まつりでの野菜販売等を通じて、農業への関心を高める取り組みを行いました。
JA足利	農業体験学習	小学生を対象に、いちご収穫・味噌作り、小中学生を対象に、パケツ稲づくりに取り組み、育成過程の観察等を通じた食農教育活動を行いました。
JAしおのや	児童生徒作品 コンクール	小中学生を対象に、農業に関する絵画・習字の作品を募集し、JAまつり特設コーナーに展示することで、農業の理解を深める取り組みを行いました。
JAなすの	親子農業体験事業 (なっちゃんクラブ)	小学生親子を対象に、農作物(大根、里芋、そば等)の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。
JAなす南	児童作品展覧会	園児・小中学生を対象に、農業を題材に募集した書道・絵画をJAまつりの際に食農教育コーナーを設け展示いたしました。

以上